

事業実績報告書

様式 2
(2020年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-13	講座名	渥美の磯で珍しい生き物を探そう！
記載日	2020/8/28	団体名・企業名	環境ボランティアサークル亀の子隊

〈講座全体の概要〉(300字程度)

渥美半島の内海側に残る貴重な磯は汽水域となっている磯では、通常の磯よりも多くの生き物がいる。イソギンチャク、カニ、数種類の貝類、時にはウミウシやアメフラシも見つかる。タイドプールに潜むイソエビや小魚を探したり、磯岩の下の砂利に潜り込んでいる生き物なども見つけることができる。



※写真1の説明

活動終了後の集合写真

※写真2の説明

動石の下の生き物を探す親子

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

コロナの関係で1回目は中止となり、2回目も申し込みがなかなかなくて+A18今年は参加者はないか、と心配していたが、19人の参加者があり、ほっとしている。

昨年度までは、電車で来てバスで移動する人が多かったが今年はコロナの関係か、6組のうち5組が自家用車で来た。自粛生活につかれているのかもしれないが、磯に来てディレクチャーチェアで座っているだけの人もいた。子どもも一人は、生き物見つけをすることなく浅瀬で泳いで喜んでた。

大満足と興奮気味に楽しさを伝えてくれた人もいるが、全体に活動中のテンションが低くもうちょっと歓声が聞きたかったなあ。昨年よりも生き物が見つけられなかったことも関係しているだろう。という感じです。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

○ 初めて渥美半島に行きましたが、新鮮なものばかりでした。三葉虫の様な貝を観察した磯観察はもちろん、初めてみる太平洋、風力発電、赤茶の畑、スプリングラー すべて初めてで、同じ愛知県でこんな所があったのかと興奮しました。中でも娘は太平洋の打ち寄せる波と砂の動きにはまっています。渥美半島の自然を子どもともっと探ってみようと思います。世の中今後どうなるかわかりませんが、また渥美半島行きます。

○ イソギンチャクに初めて触って、面白かった。

○ タイドプールの生き物探しがやりたかったのが楽しかった。